

令和3年度第6回小金井市農業委員会農政部会  
 (小金井市農業振興計画策定) 会議録

開催日時	令和3年12月20日(月) 14時30分から15時45分まで		
開催場所	小金井市役所第二庁舎801会議室		
出席者	委員	相原宏次、井寺喜香、岩本千絵、大久保勝盛、加藤健治、岸野有次、高橋金一、谷合正明、益田智史、松嶋あおい、渡邊雅毅	
	その他		
	事務局	高橋事務局長、山崎係長、江平主任 (株) 地域計画建築研究所(アルパック) 2人	
欠席者	0人		
傍聴の可否	可・不可・一部不可	傍聴者数	0人
議事日程	1 開会 2 部会長挨拶 3 議題審議 (1) 計画案の検討 (2) 計画案のパブリックコメントの実施について (3) その他 4 閉会		
配布資料	次第 資料：小金井市農業振興計画(案) 参考資料：小金井市農業振興計画(案)のパブリックコメント実施関連資料		

## 1 開会

## 2 部会長挨拶

## 3 議題審議

### (1) 計画案の検討

部会長 事務局から、今後のスケジュールについて説明いたします。

事務局 本日の会議は、12月27日から開始を予定しているパブリックコメントに向けて計画案を固めていきたいと考えております。

また、本日が最後の農政部会の予定でしたが、パブリックコメント後の令和4年2月に部会を追加で開催させていただき、皆様にパブリックコメントに対する検討結果について報告させていただきたいと考えています。

部会長 計画案の検討について事務局より説明をお願いします。

[資料に基づき事務局説明]

部会長 計画案につきまして、ご質問、ご意見ございますでしょうか。

委員 目次の資料編につきまして、他の章と同様に見出し番号を付けると見やすくなるように思います。

次に、11頁の「3 小金井市における農業振興の課題」に関しまして、左の四角と、右側の5つの課題の図が分かりにくいように感じます。

左側の5つの四角が課題の内容であるなら、右側の5つの課題を左側のタイトルとして1つにまとめた方が分かりやすくなるように思います。

事務局長 左側の5つの四角の内容を一言でまとめたものが右側の5つの課題です。こちらは、次頁の5つの基本施策につながるよう表現しています。

委員 左側の課題の内容と、右側の5つの課題の間に矢印が必要であるかが疑問です。

事務局 整理いたします。

部会長 他にご意見ありますか。

委員 18頁「2-1 農業関連法制度の周知・活用促進」につきまして、文章部分では「市による農地の先行取得」と記載されていますが、主な取組の中には入っていません。こちらはどのように整理されたのでしょうか。

事務局長 先行取得に関しましては、相当な財源を要するため、確定的には記述しにくい側面があります。そのため、主な取組の下から2番目「農地としての保全につながる利活用方法の検討」の中に含めています。

委員 「市による先行取得」という文言はなぜ入れているのでしょうか。

事務局長 計画書に全く記載がないと、実際に制度を活用しようとしたときに取組めなくなってしまいます。先行取得の制度自体はありますので、農地の保全に向けて活用できる可能性を残すために記載しています。

部会長 他にご意見ございますか。

委員 30頁「1 農業経営基盤の強化の促進に関する目標」ということで目標値が記載されています。こちらは全て文章になっていますが、2頁「前計画の評

価指標」のように指標は表で記載した方が分かりやすいように感じます。

また、33頁「(4) 経営体モデル」につきまして、表のタイトルは「所得目標」となっていますが、表下の注釈では「販売目標」という文言が用いられています。「所得」と「販売金額」2つの文言が混在してわかりにくいため、修正の必要があるように思います。

部会長 「10a当たり70万円」というのが、耕地面積なのか作付面積に対応しているのかが分かりにくいため、混乱を招いているのかもしれない。整理をお願いします。

「多品目野菜販売」の「耕地面積20a」というモデルに関しましては、小金井市の認定農業者の中で一番面積の小さい農地が20a程で、その方の所得が200万円を超えているためこのように設定されているのかと思います。

委員 そのあたりの説明を文章に追記していただくと分かりやすくなるかと思います。

事務局 こちらの表記に関しましては精査いたします。

委員 33頁「(4) 経営体モデル」の表ですが、なぜ多品目の野菜販売だけ耕地面積と作付面積の数値が異なるのでしょうか。

事務局 野菜品目によっては、年に数回の作付けができますので、耕地面積よりも作付面積が大きくなっています。

部会長 他にご意見ございますか。

委員 23頁「4-4 ふれあい農業の推進」は、体験することが消費に繋がるという視点から地産地消に位置付けられているのは理解できるのですが、内容的には基本施策5の「農」あるまちづくり」に組み込む方が適切であると感じます。

委員 体験型市民農園は収益につながるという側面もありますが、地産地消の拡充が購入機会の拡充を意味するのであれば、4-4は農とのふれあいに重点を置いている印象を受けるため、基本施策5「農」あるまちづくり」に移した方が良いように思います。

委員 5に移動させる場合、施策の順番はどうなるのでしょうか。

事務局 5に移す場合は、5-1として入れるのが適切だと思います。

事務局 「4-4 ふれあい農業の推進」は基本施策5に移動し、整理いたします。

部会長 他にご意見はございますか。

委員 19頁「2-3 多面的機能の理解促進」の文章内で「都市農地」や「都市農業」、また、主な取組の一番下に「都市における農地の魅力の発信」という表現があります。「都市」としてしまうとどこの自治体とも似通ってしまう印象があります。説明文の「都市農地」と「都市農業」はそのままでも良いと思いますが、主な取組については、小金井市の農業の魅力を発信するという意味も込めて、「都市」という文言を「小金井市」に置き換えてはいかがでしょうか。

事務局 文言につきましては検討いたします。

委員 16～25頁の「主な取組」に「(新規)」と記載されている取組が多数ありますが、こちらは市が事業として取り組むという認識でよろしいでしょうか。

- 事務局長 「(新規)」というのは、前計画に載っていない取組が全て含まれています。市が主体の全てを担うという意味ではありません。
- 委員 市が全て主体として実施するわけではなく、調整を市が行うということですね。
- 事務局長 29頁にも記載しておりますが、市は本計画の調整や進行管理を行います  
部会長 J Aが推進している取組もあれば、観光まちおこし協会や商店会等が協力して行っているものもあります。29頁にもあるよう、市は関係機関や団体と連携しながら取組や事業の調整を行っていくということかと思えます。
- 事務局 小金井市では、既存の取組、新規の取組に関わらず、「オール小金井」で取り組んでいくというコンセプトを掲げています。取組によっては、市が行政として中心を担うときもあれば、サポートしていく場合もあります。また、実施主体を明記してしまうと、そこに書かれていない団体は関係ないのかと誤解を招いてしまう懸念もあり、検討を重ねた結果このような表現としています。
- 部会長 他にご意見ございますか。
- 委員 44頁のSDGsの表が小さくて読みにくいように感じます。  
また、表紙のデザインも手に取りたくなるよう工夫していただきたいと思えます。
- 事務局長 パブリックコメントは中身に対する意見を聞くために行いますので、現状の計画案はこのようになっています。最終的に製本される計画書は、表紙のデザインを含めて体裁を整えたものになります。
- 事務局 表紙のデザインに関しましては、皆様からのご意見をデザイナーに伝えた上でラフ案を用意する予定です。1月の個別検討会では、ラフ案をもとにご検討いただきたいと思えます。  
そして、2月の部会では、1月の個別検討会の検討内容を基に仕上がった最終イメージを共有させていただき、デザインを決定する予定です。デザインに関するご意見がありましたら、12月24日(金)までに事務局までご連絡ください。
- 部会長 デザインに関するご意見やアイデアがありましたらお聞かせいただければと思えますがいかがでしょうか。
- 委員 毎年、農の風景写真コンクールというものが行われています。選ばれた写真の中で小金井地区の写真があればそれを利用するのも良いかもしれません。
- 委員 J A東京中央会が主催していたそのコンクールですが、残念ながら終了してしまいました。
- 委員 絵画コンクールに出展されている子どもが描いた絵を利用するのも良いかもしれません。
- 事務局 作品をどのように選ぶかについての検討や描いた方への確認が必要になるかと思えます。また、表紙だけではなく、計画書の中にも小金井の農地の写真や子どもが描いた絵など、読む方のイメージが湧きやすいよう、内容に即した写真等を出来るだけ載せていきたいと考えています。農地や農作物、農に関するイベントの写真などをSNS等に載せている方や画像データをお持ち

の方につきましては、ぜひご協力をお願いします。

委員 完成した計画書はどこで配布されるのでしょうか。それによって表紙やデザインも変わってくるかと思えます。

事務局 現時点では、農業者の皆様には1部ずつ配布したいと考えています。概要版も作成しますので、市の施設やJA、観光まちおこし協会、商工会などの団体にもお渡しできればと考えております。

事務局長 概要版は、大きな項目は書かれています、肝心な中身が詳しく書かれていない側面もあります。市民を含め、一般の方にはぜひ計画の中身を読んでもらいたいので、計画書にも写真をたくさん掲載するなど、中身を読んでもらえるような工夫を検討しています。

計画書については、市のホームページにもPDFを掲載します。また、部会の委員や農業委員の皆様には配布いたします。その他、情報公開コーナーや図書館などにも置けたら良いと考えています。

しかし、最近紙の計画書の製本部数が減っておりホームページに掲載するのが主流になってきています。今回は約200部印刷する予定ですが、まずは関係者に配布をして、残りは次期計画用にストックすることになるかと思えます。

委員 計画書をより多くの方に見ていただけるように、QRコードを載せたポスターを作っても良いかもしれません。

事務局長 今回はより多くの方に見ていただけるように、概要版のようなパンフレットを作成する予定です。計画書に誘導するような仕組みも出来るかと思えます。

部会長 今後どのように広げていくかにつきましては、次の段階として別途ご意見をいただけたらと思えます。

この件につきまして、他にご意見ございますでしょうか。無いようですので、次に移ります。

## (2) 計画案のパブリックコメントの実施について

事務局 令和3年12月27日から令和4年1月26日にかけてパブリックコメントを実施する予定です。

[資料に基づき事務局説明]

事務局 今後、農業経営基盤強化促進法に基づく東京都との同意の手続きが控えており、スケジュールの関係上、前倒しで作業を進めていかなければなりません。同意手続きの前に農業委員会から市へ答申を行う必要がありますので、パブリックコメント後の計画案の修正内容につきましては、部会長及び農業委員会正副会長の一任という形で進めさせていただきたいと考えています。

事務局長 都協議を2月上旬に予定しているのに対し、皆様にご報告ができますのが今回の農政部会を開催する2月18日になるため、事後報告という形になってしまいます。そのため、今後のパブリックコメントに基づく修正等の対応につきましては、部会長及び農業委員会正副会長の一任という形で進めさせていただければと考えています。事後報告という形にはなりますが、2月の部会ではパブリックコメントの検討結果について皆様にもご報告させていただけたらと

思います。

部会長 この件につきまして、ご意見ございますでしょうか。  
無いようですので、説明のとおりに進めてください。

### (3) その他

事務局 1月20日(木)14時30分から計画書の表紙デザインに関する有志の会を開催させていただきたく思います。

また、農政部会は本日が最後の予定でしたが、2月18日(金)14時30分から第7回の農政部会を開催させていただき、デザインやパブリックコメントに対する検討結果の取りまとめに関する報告をさせていただきたいと考えています。ご都合の悪い方が多い場合は、日時の調整をいたしますので、皆様のご都合をお伺いしたく思います。

部会長 皆様ご都合はいかがでしょう。  
問題ないようですので、説明のとおりに進めてください。

事務局 1月の有志の会及び2月の第7回農政部会の開催に関しましては別途ご連絡いたします。

## 4 閉会

部会長 その他にご意見ご質問等ございますでしょうか。  
無いようですので、以上をもちまして本日の会議を終了いたします。